

この説明文書はお薬とともに保管し、ご使用の際には必ずお読みください。

解熱鎮痛薬

第②類医薬品

ノノン錠

製品の特徴

ノノン錠は、2種の鎮痛成分に2種の鎮痛補助成分を配合した、非ピリン系の解熱鎮痛薬です。頭痛、歯痛、生理痛などの痛みにすぐれた鎮痛効果を発揮します。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

1. 次の人**は服用しないでください。**
(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
2. 本剤を服用している間は、次の**いずれの医薬品も服用しないでください。**
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作を**しないでください。**(眠気等があらわれることがあります。)
4. 服用前後は飲酒**しないでください。**
5. 長期連用**しないでください。**



相談すること

1. 次の人**は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。**
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
(3) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)
(4) 高齢者
(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
(6) 次の診断を受けた人
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、次の**症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。**

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の**症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。**
眠気
4. 5～6回服用しても**症状がよくなりません場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。**

効能・効果

●頭痛・歯痛・月経痛(生理痛)・腰痛・関節痛・抜歯後の疼痛・筋肉痛・肩こり痛・神経痛・打撲痛・
ねんざ痛・咽喉痛・耳痛・骨折痛・外傷痛の鎮痛 ●悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

1 回下記量を 1 日 3 回を限度とし、なるべく空腹時をさけて水又はお湯と一緒に服用してください。服用間隔は 4 時間以上おいてください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
大人(15才以上)	2 錠	3 回
7才以上15才未満	1 錠	
7才未満	服用させないでください	

＜用法・用量に関する注意＞

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
(2) 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。

(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



成分とはたらき

成 分	分量 (6 錠中)	は た ら き
アセトアミノフェン	900mg	痛みの感覚をおさえます。また、熱を下げるはたらきもあります。
エテンザミド	800mg	
アリルイソプロピル アセチル尿素	180mg	痛みをおさえるはたらきを助けます。
無水カフェイン	180mg	痛みをおさえるはたらきを助けます。また、頭痛をやわらげます。

添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、メタケイ酸アルミン酸Mg、カルメロースCa、ステアリン酸Mgを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
(2) 小児の手の届かない所に保管してください。
(3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
(4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

●ワンポイント情報

痛みは様々な刺激で起こり、2段階の痛みに分かれます。第1段階(第一相)の痛みは5～10分で終わり、10～15分後に始まる第2段階(第二相)の痛みが持続する痛みとなります。

持続する痛みは、体内で痛みを引き起こす物質(ブラジキニンなど)や、痛みをより感じ易くする物質(プロスタグランジン)が作られるために起こります。

多くの解熱鎮痛薬は、このプロスタグランジンが作られるのをおさえることにより、持続する痛みに効果を発揮します。

痛みには体の異変を知らせる重要な働きがありますが、過度な痛みは辛いものです。あまり我慢しないで、鎮痛薬をうまく利用しましょう。

お問い合わせ先

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店又は下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

湧永製薬株式会社 お客様相談室

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2丁目5-1

☎ 03-3293-3363

受付時間 9時～12時、13時～17時(土、日、祝日を除く)



製造販売元

湧永製薬株式会社

広島県安芸高田市甲田町下甲1624

本社：大阪市淀川区宮原4丁目5-36

http://www.wakunaga.co.jp/

ノノン錠「使用上の注意」改訂のお知らせ

※2012年3月改訂 下記※印アンダーライン部分を追加致しました。

2011年11月改訂（記載要領変更に伴う改訂）



使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。）

1. 次の方は服用しないでください。
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。（眠気等があらわれることがあります。）
4. 服用前後は飲酒しないでください。
5. 長期連用しないでください。



相談すること

1. 次の方は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3) 水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザににかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児（15才未満）
 - (4) 高齢者
 - (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (6) 次の診断を受けた人
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック （アナフィラキシー）	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 （スティーブンス・ジョンソン症候群）、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症※	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない※等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎※	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。※
腎障害※	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。※
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

お問い合わせ先

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店又は下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

湧永製薬株式会社 お客様相談室

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2丁目5-1

☎03-3293-3363

受付時間 9時～12時、13時～17時（土、日、祝日を除く）